高度利用者向け緊急地震速報専用受信ソフトウェア

SignalNow Professional

取扱説明書

Version 1

- 「高度利用者向け緊急地震速報専用受信ソフトウェア SignalNow Professional」は、ストラテジー株式会社が提供する製品・サービスです。
- このマニュアルは説明に Windows 7 を使用しています。お使いの OS によって表示される画面や文言が異なる場合があります。その場合は適宜読み替えて頂けますようお願いいたします。
- SignalNow(シグナルナウ)はエヌ・エス・シー株式会社の登録商標です。その他の製品名称や社名は各社の登録商標または商標です。

■もくじ

■はじめに

この度は「高度利用者向け緊急地震速報専用受信ソフトウェア SignalNow Professional」（以下「SignalNow Professional」または「本ソフトウェア」と記します）をお買い上げげいただきありがとうございます。

この説明書（以下「本説明書」と記します）にて SignalNow Professional のインストール方法から各機能の説明をご説明しています。

作業前に本説明書を最後までご一読いただくとともに、印刷していつでも参照できるようにお手元に保管されることをお勧めいたします。

巻末には緊急地震速報について、地震が発生した際にとるべき行動など、参考となるサイトもご紹介しています。お客様の理解を深めるための一助としてご参照下さい。

SignalNow Professional を有効にお使いになり、お客様の防災活動に末永くお役立ていただければ幸いです。

■本製品の特徴

「SignalNow Professional」はインストールして頂いたその日から、お使いの Windows パソコンで気象庁が提供する「高度利用者向け緊急地震速報」を受信することができるソフトウェアです。

SignalNow Professional を起動するとお使いの Windows に常駐して動作し、お客様が登録した地点(所在地)へ地震が到達すると予測された場合に、揺れの大きさ(震度)と揺れが到達するまでの時間(猶予時間)を画面への表示と報知音(アラーム音)にて、テレビやラジオより早くお知らせします。

その他姉妹品「SignalNow Express」と比べると主に以下の機能が強化されています。

- ❑ **より正確な予測震度と猶予時間をお知らせ！**

  お客様の希望した場所を所在地として緯度・経度にて指定します。更に地盤の堅さも指定することでより正確な予測演算が可能になりました。

- ❑ **オフィス内の Windows パソコンからも利用も可能！**

  セキュリティ確保のために Proxy サーバーが導入されているオフィスのネットワーク環境でもお使い頂けるようになりました。
  ※ファイヤーウォールが設定されている場合など、一部の環境ではお使い頂けない場合があります。

- ❑ **地図の表示速度が高速に！**

  専用の地図データを用意したことで、回線が混雑した場合などに地図の表示が遅れたりすることが無くなりました。

- ❑ **気象庁ガイドラインに適合！**

  気象庁が定める「緊急地震速報を適切に利用するために必要な受信端末の機能及び配信能力に関するガイドライン」に適合しており、安心してご利用いただけます。

なお、Signalnow Professional は専用機 SignalNow と違い、Windows パソコンの稼働に併せて動作します。Windows がスリープ状態やサスペンド状態の時は本ソフトウェアも動作を停止しますのでご注意下さい。

■ライセンス(ソフト電池充電 No.)について

SignalNow Professional は利用期間が定められたソフトウェアです。利用期間の管理はパルティオソフト株式会社製品のソフト電池を使用しています。

SignalNow Professional を継続してお使いいただくためにはライセンス登録期間内(インストールしてから 7 日間)にソフト電池の充電を行って下さい。充電が完了すると、充電したその日から 1 年間 SignalNow Professional をお使い頂けます。

■インストール

○稼働環境

以下のシステム要件を満たす環境(Windows パソコン)が必要です。

システム要件	
日本語 OS:	Windows 7・Windows Vista(32 ビット・64 ビット)、 Windows XP(32 ビット) ※64 ビット OS の場合、SignalNow Professional は WOW64 を使用して動作します。
プロセッサ:	お使いの OS が推奨するもの
メモリ:	お使いの OS が推奨するもの
ハードディスク:	20MB 以上の空き容量
ミドルウェア:	Microsoft .NET Framework 3.5 SP1 以上、 Windows Media Player 11 以上
その他:	インターネット常時接続環境

○インストール

Step 1. 準備

※DVD 版などパッケージ製品をご購入の場合は、Step 2.へお進み下さい。

1. SignalNow Professional を使用するユーザーでログオンします。

   [Windows 7、Windows Vista を使用している場合]
   アカウント種類に「管理者」が割り当てられた管理者アカウントが必要です。
   管理者アカウント以外のユーザーアカウントでログオンした場合、インストールの途中で管理者アカウントのパスワードの入力を求められます。

   [Windows XP を使用している場合]
   Administrator グループに所属しているユーザーアカウントまたはコンピュータの管理者アカウントでログオンします。

2. ダウンロードしたインストール用 zip ファイルを適当なフォルダーへ展開します。

   展開先のフォルダーは任意の場所で構いません。この説明書では展開先として「作業用」フォルダーをデスクトップに作成したと仮定して説明しています。

インストール用 zip ファイル名:	SignalNowProfessional_X_XX_X_Setup.zip ※実際のファイル名は X_XX_X の部分がバージョンを示す数字に置き換わります。
展開先フォルダーの場所:	デスクトップの「作業用」フォルダー

Step 2.　ソフト電池のインストール

① 管理者権限がない場合
管理者権限を持たないユーザーでログオンした場合、管理者アカウントのユーザー名とパスワードの入力を求められます。 その場合は入力してから[はい]ボタンをクリックしてインストーラーを起動させます。

1. ソフト電池をインストールするために「作業用」フォルダーに展開された sdrt4280j.exe を実行します。

→ インストール継続許可を求めるために[ユーザー アカウント制御]画面が表示されます。

図) ソフト電池インストール確認の為のユーザーアカウント制御(UAC)

2. [はい]ボタンを押して、ソフト電池用インストーラーを起動します。

→ [SdRt4200 - InstallShield Wizard]画面が表示され、ソフト電池のインストーラーが起動します。

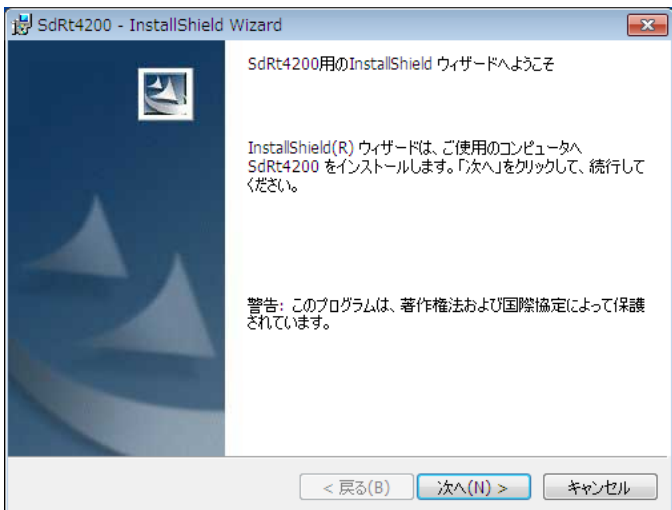
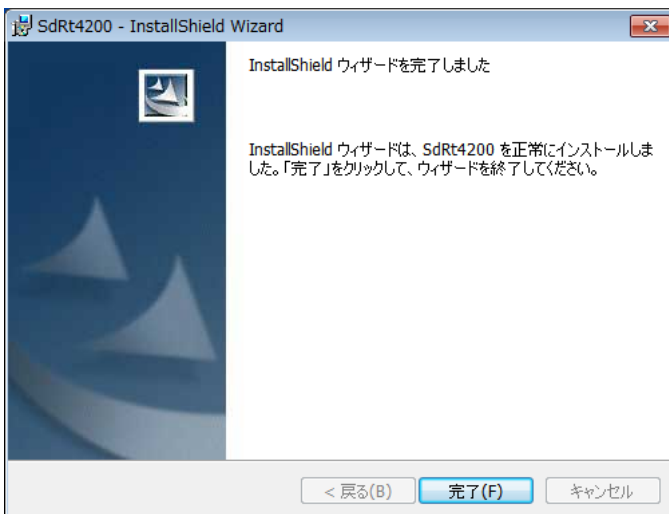



図) ソフト電池インストーラー起動画面

3. ソフト電池のインストールを開始します。

各画面に表示される内容に従い[次へ]ボタンを何回かクリックして、インストール作業を進めます。

4.　ソフト電池のインストールを完了させます。

[完了]ボタンを押して、ソフト電池のインストールを完了させます。

図）ソフト電池のインストール完了

Step 3.　SignalNow Professional のインストール

① 管理者権限がない場合
管理者権限を持たないユーザーでログオンした場合、管理者アカウントのユーザー名とパスワードの入力を求められます。 その場合は入力してから[はい]ボタンをクリックしてインストーラーを起動させます。

1.　SignalNow Professional のインストーラーを起動します。

「作業用」フォルダーの中にある「SignalNowProfessional_Installer」フォルダー内の Setup(「Setup.exe」と表示される場合もあります)を実行します。

① 起動するファイルには注意
SNPro_pack(または「SNPro_pack.exe」)ファイルは実行しないで下さい。 間違えて SNPro_pack を実行して、インストールを行った場合は、一度アンインストールをしてから setup ファイルを使用してインストールを行ってください。

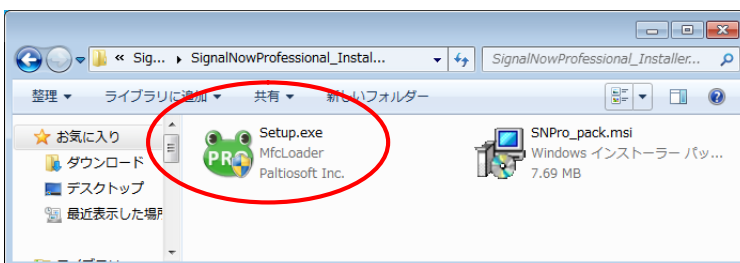



図) SignalNow Professional インストーラーファイル

→　インストール継続許可を求めるために[ユーザー アカウント制御]画面が表示されます。

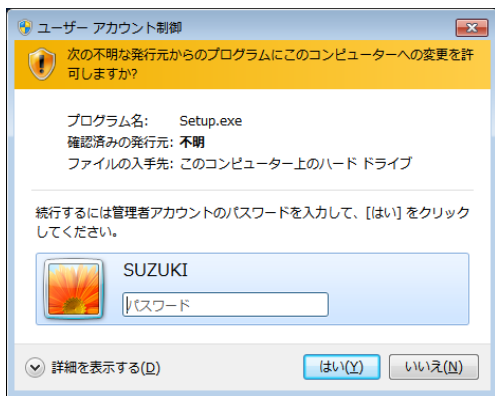



図) SignalNow Professional インストール確認の為のユーザーアカウント制御(UAC)

2. [はい]ボタンを押して、SignalNow Professional 用インストーラーを起動します。

→ 「SignalNow Professional」画面が表示され、SignalNow Professional のインストーラーが起動します。

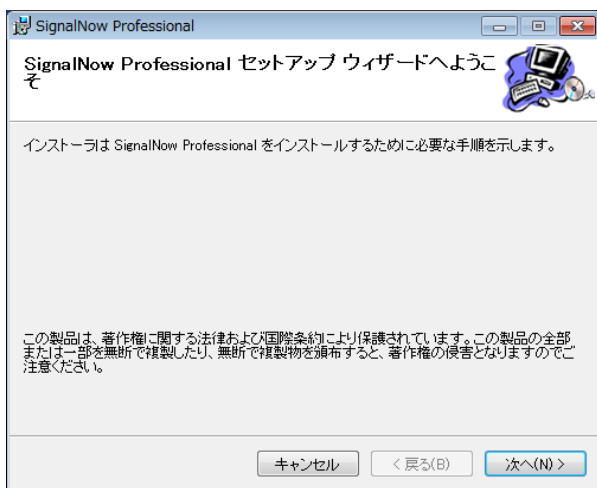



図) SignalNow Professional インストーラー起動画面

3. [次へ]ボタンをクリックして、SignalNow Professional のインストールを開始します。

4. [同意する]をクリックしてから、[次へ]ボタンをクリックします。
緊急地震速報の特性や限界等記述されています。よく読んでから次の手順に進んで下さい。

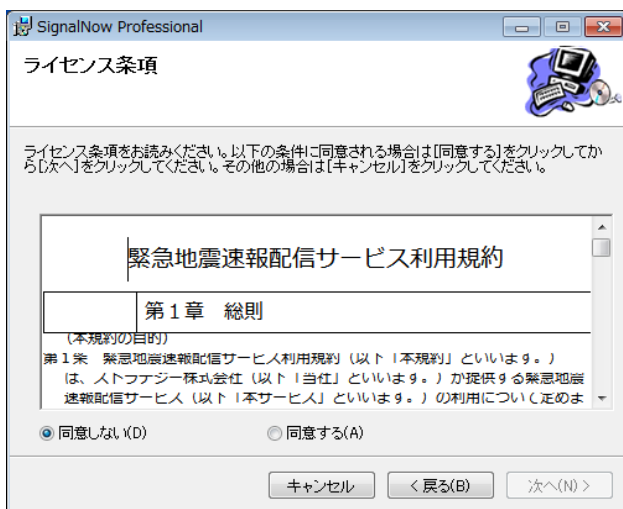



図) 緊急地震速報サービス利用規約確認

5. [次へ]ボタンをクリックします。

   インストール先を変更したい場合は[参照]ボタンをクリックして、任意のフォルダーを選択します。

① 任意のフォルダーにインストールする場合は
以下のフォルダーは選択しないでください。お使いの Windows パソコンの誤動作などを引き起こす可能性があります。 [条件-指定してはいけないフォルダー] ・他社製プログラムが作成したフォルダー ・OS の基本ファイルが保存されるフォルダー 　Windows, WinNT ・他のユーザーアカウント権限で管理しているフォルダー

6. [次へ]ボタンをクリックします。
7. [閉じる]ボタンをクリックして、インストールを完了します。

→ デスクトップに緑色のカエルの顔のアイコンが作成されます。

図) SignalNow Professional デスクトップのアイコン

※Windows の[スタート]メニュー内にある[スタートアップ]にも「SignalNow Professional」のショートカットが登録されます。
次回の Windows へのログオン時から自動的に[SignalNow Professional ログイン]画面が表示されます。

Step 4. ミドルウェアの更新

SignalNow Professional は動作するために次のプログラムをミドルウェアとして使用します。

マイクロソフト社のサイトよりダウンロードしてお使いの Windows パソコンにインストールして下さい。

- .NET Framework 3.5 SP1 以上
- Microsoft Windows Media Player 11 以上

1. 次のサイトを参考に.NET Framework のバージョンを確認します。

   マイクロソフト社 Microsoft サポート: インストールされている Microsoft .NET Framework のバージョンおよび Service Pack のレベルを確認する方法
   http://support.microsoft.com/kb/318785/ja

2. .NET Framework 3.5 SP1 以上をマイクロソフト社のサイトよりダウンロードしてインストールします。

   マイクロソフト社 Microsoft Download Center URL:
   http://www.microsoft.com/downloads/ja-jp/details.aspx?familyid=ab99342f-5d1a-413d-8319-81da479ab0d7
   ※.NET Framework 3.5 の最新版をお使い下さい。.NET Framework 4 では動作しません。
   ※URL は変更される場合があります。

3. Microsoft Windows Media Player 11 以上をマイクロソフト社のサイトよりダウンロードしてインストールします。

   マイクロソフト社 Microsoft Download Center URL:
   http://www.microsoft.com/ja-jp/windows/windowsmedia/download/default.aspx
   ※お使いの Windows のバージョンに併せた Windows Media Player11 をお使い下さい。
   ※URL は変更される場合があります。

4. Windows を再起動します。

   念のため Windows パソコンを再起動します。再起動後、「使い方　起動方法」の説明へお進み下さい。

○アンインストール

Step 1.　SignalNow Professional を終了します

1. SignalNow Professional を終了します。

Step 2.　SignalNow Professional のアンインストールを行います

1. Windows の[スタート]ボタンをクリックし、表示されたメニューより[コントロールパネル]をクリックします。

→　コントロールパネルが表示されます。

2. [プログラムのアンインストール]※をクリックします。
   ※Windows XP を使用している場合、[プログラムの追加と削除]です。

→　インストール済みのプログラムが一覧表示されます。

3. 一覧から「SignalNow Professional」を選択し、[アンインストール]※をクリックします。
   ※Windows XP を使用している場合、[削除]ボタンをクリックします。
4. 画面の指示に従いアンインストールの操作を継続します。

■使い方

○起動方法

SignalNow Professional は起動後に緊急地震速報配信サーバーへのログインが完了することで動作を開始します。SignalNow Professional を起動する前にインターネットへの接続を忘れずに行って下さい。

Step 1. SignalNow Professional の起動

1. デスクトップにある SignalNow Professional のアイコン(緑色のカエルのアイコン)をダブルクリックします。

→ [SignalNow Professional サーバーログイン]画面が表示されます。

※[スタートアップ]に登録されている場合は Windows へログオンと同時に表示されます。

図) [SignalNow Professional サーバーログイン]画面

① インストール後に初めて起動する場合は(ソフト電池の充電)

本ソフトウェアにはライセンス登録期間が設けられています。この期間に「ソフト電池充電 No.」を購入してソフト電池の充電を行ってください。

パッケージ製品には「ソフト電池充電 No.(365 日分)」が同封されています。

以下の手順にて充電を行います。

1.[ソフト電池メーターを開く]ボタンをクリックします。
　→ [ソフト電池メーター]画面が表示されます。

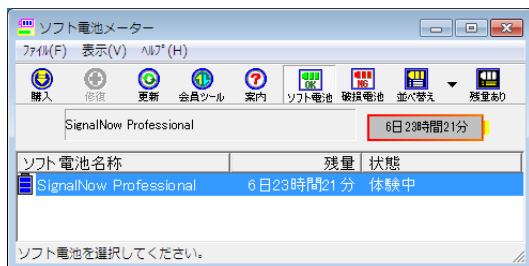
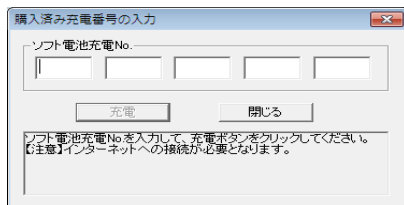



図) [ソフト電池メーター]画面

2.ソフト電池名称が表示されている一覧から[SignalNow Professional]を
クリックして選択します。

3.[ファイル]メニューより[購入済み番号で充電]をクリックします。
→　[購入済み充電番号の入力]画面が表示されます。

4.「ソフト電池充電 No.」を入力して[充電]ボタンをクリックして下さい。
→　充電され、利用可能期間が延長されます。

2.　[サーバーへログインを開始]ボタンをクリックします。

→　緊急地震速報配信サーバーへログインし、動作を開始します。動作を開始するとタスクトレイに緑色のカエルのアイコン※が表示されます。

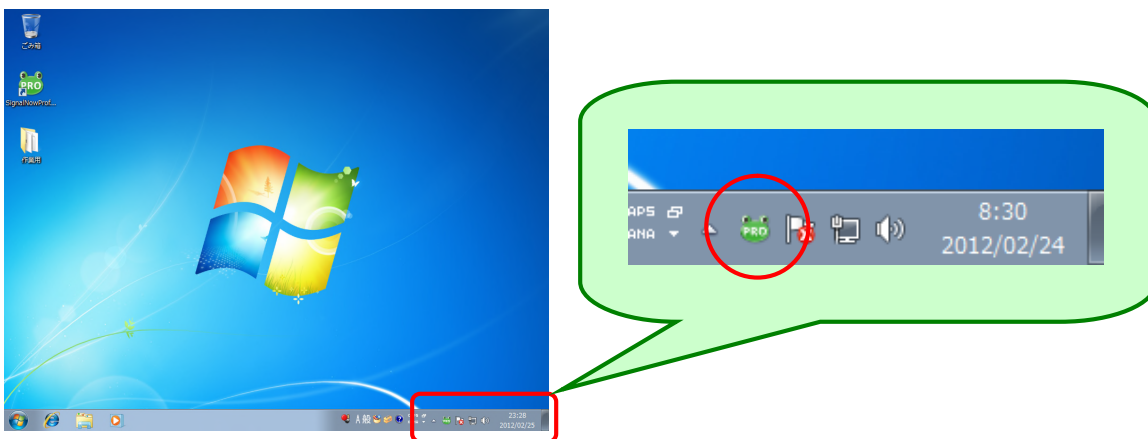



図) 通知領域内のアイコン

※アイコンが赤色で表示された場合は、緊急地震速報配信サーバーへログインが失敗しました。インターネットに正しく接続されているかなどネットワークの環境をご確認下さい。

① Windows へログオンしたら自動的にサーバーへログインしたい時は
[自動でログインする]をクリックし、チェックマークを付けてから[サーバーへログイン]ボタンをクリックして下さい。 次回から Windows へログオンする毎に[SignalNow Professional ログイン]画面が表示され、さらにサーバーへのログイン処理が自動的に行われます。

① タスクバーの通知領域とは
通常通知領域とはタスクバーの右端にある時間と日付が表示されている付近の小さなアイコンが表示されている領域のことです。

○設定－基本

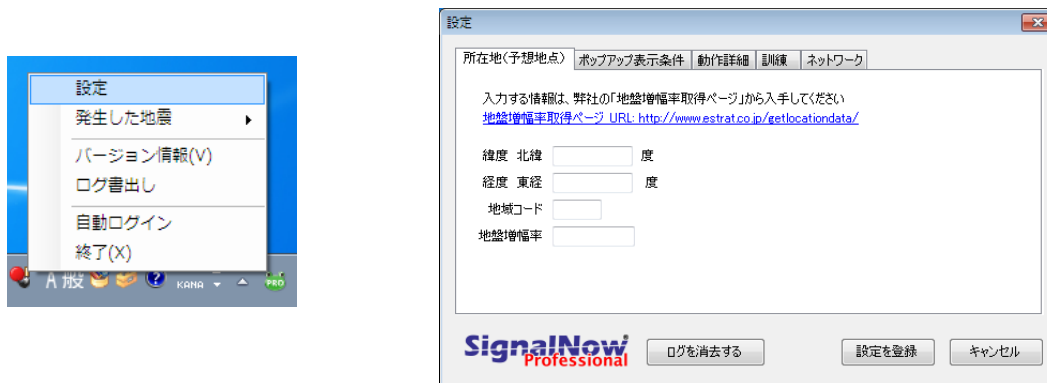
　SignalNow Professional を正しくお使い頂くために、いくつかの基本となる設定を行います。

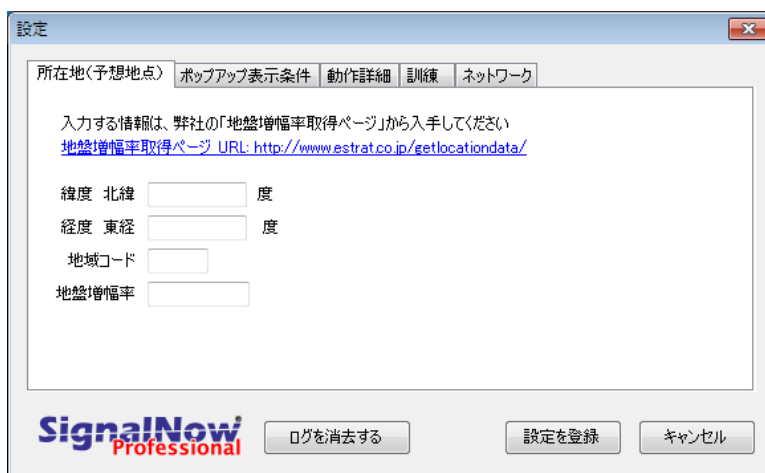
Step 1.　[設定]画面を表示します。

　設定は各機能を設定する専用の画面から行います。

- ❑ [設定]画面は複数のタブから構成されています。タブを切り替えることにより、設定内容の種類を変更することができます。
- ❑ 設定作業が終了したら[設定を登録]ボタンをクリックすることで、全てのタブの内容が反映され、自動的に緊急地震速報配信サーバーへ再ログインします。
- ❑ [キャンセル]ボタンをクリックすると、[設定]画面にて変更した内容は破棄されます。

1. タスクトレイにある SignalNow Professional のアイコンを右クリックし、表示されたポップアップメニューから[設定]をクリックします。

→ [設定]画面が表示されます。

図）ポップアップメニューと設定画面

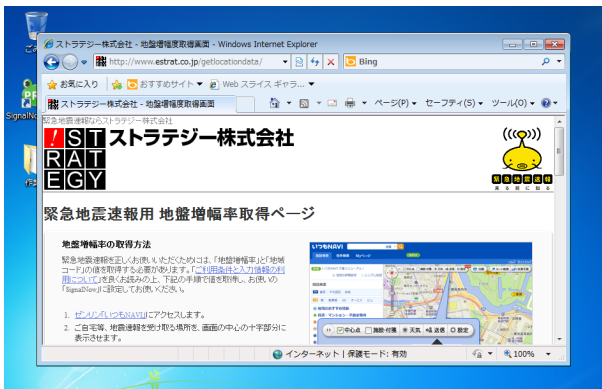
Step 2.　所在地設定

図）[所在地(予想地点)]画面

　お客様がいる場所(SignalNow Professional をインストールした Windows パソコンの設置場所)を「所在地」といいます。

所在地の登録には４種類の情報が必要です。これらの情報はストラテジー株式会社の専用ページ「緊急地震速報用　地盤増幅率取得ページ」から入手します。

1. [設定]画面の中にある[所在地(予想地点)]タブをクリックします。

2. [地盤増幅率取得ページ　URL: http://www.estrat.co.jp/getlocationdata/]をクリックします。

→　ブラウザーが自動的に起動され「緊急地震速報用　地盤増幅率取得ページ」が表示されます。

図）地盤増幅率取得ページ

3．「緊急地震速報用　地盤増幅率取得ページ」の説明を読み、手順通りすすめて以下の情報を入手します。

❑　緯度　北緯
❑　経度　東経
❑　地域コード
❑　地盤増幅率

3.入手した情報を所在地情報として入力します。

地盤増幅率の取得用フォーム

「※」は必須入力項目です。

ゼンリン 地図のリンク	ゼンリン「いつもNAVI」で取得した地図のリンクURLをペーストします
緯度・経度の入力方法	◉ 地図のリンクからの自動入力(推奨)　◎ 手動入力
緯度・経度 ※	緯度：　経度：
郵便番号	- 住所自動入力
住所 ※	
メールアドレス ※	
メールアドレス(確認用) ※	

送信

地盤増幅率と地域コード

地域コード	999
地盤増幅率	9.999999

図）緯度、経度、地域コードと地盤増幅率の結果ページ

Step 3.　ポップアップ条件

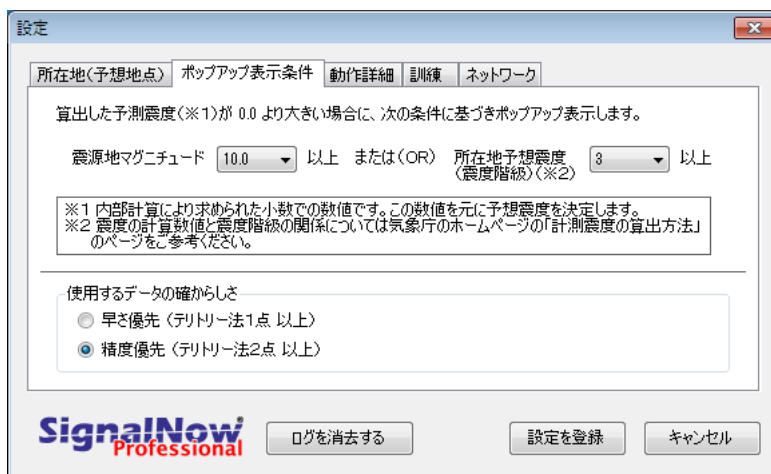



図) [ポップアップ表示条件]画面

　日本のどこかで地震が発生し、SignalNow Professional は緊急地震速報を受信すると即座に予測演算処理を行います。

　予測演算した結果がポップアップ条件に一致する場合、SignalNow Professional は画面をポップアップさせ、報知音(アラーム音)とともにお知らせします。

1. [設定]画面の中にある[ポップアップ表示条件]タブをクリックします。
2. [震源地マグニチュード]を右隣にあるドロップダウンリストから希望するマグニチュードの大きさをクリックして選択します。
3. [所在地予想震度]を右隣にあるドロップダウンリストから希望する震度をクリックして選択します。

! ポップアップ条件について

ポップアップ条件は OR("または")条件として扱われ、[震源地マグニチュード]か、または[所在地予想震度]のどちらか一方が条件に一致した場合にお知らせします。

但し、予測演算した所在地に対する予測震度の大きさが 0.0 を超えない場合は、ポップアップ条件に一致してもお知らせすることはありません。

例 – 条件に一致してもお知らせしない)
[設定条件]
　所在地: 「愛媛県の県庁所在地」
　震源地マグニチュード: **1.0 以上**
　所在地予想震度: 1 以上
[発生した地震]
　震源地: 北海道沖
　マグニチュード: **8**

この場合、マグニチュードの条件には一致しますが、北海道沖で発生した地震の揺れが愛媛県の県庁所在地までは届かないと予測されるため、お知らせしません。

---

4. [使用するデータの確からしさ]を選択します。通常は[精度優先(テリトリー法２点以上)]をクリックして選択して下さい。

① “確からしさ”とは
地震が発生すると全国にある観測点から気象庁へ地震の情報が送られます。気象庁はそれら情報をとりまとめて解析し、緊急地震速報として発信します。この緊急地震速報の正確性を気象庁では「確からしさ」として表現しています。 複数の観測点から得られた情報を基に解析した方が、精度の高い緊急地震速報を発信することができますが、解析に要する時間が比較的長くなります。逆に観測点の数が少ない場合は緊急地震速報の精度は低くなりますが、その分速く発信することができます。 SignalNow Professional では予測演算に使用する緊急地震速報を次の２種類の確からしさから選択することができます。 ❑ 早さ優先(テリトリー法１点以上) １箇所以上の観測点を使用した緊急地震速報 ❑ 精度優先(テリトリー法２点以上) ２箇所以上の観測点を使用した緊急地震速報 専用機 SignalNow では他にグリッドサーチ法(３／４点、５点以上)も選択できますが、実用上「精度優先(テリトリー法２点以上)」を選択して殆ど問題はありません。

Step 4.　動作詳細

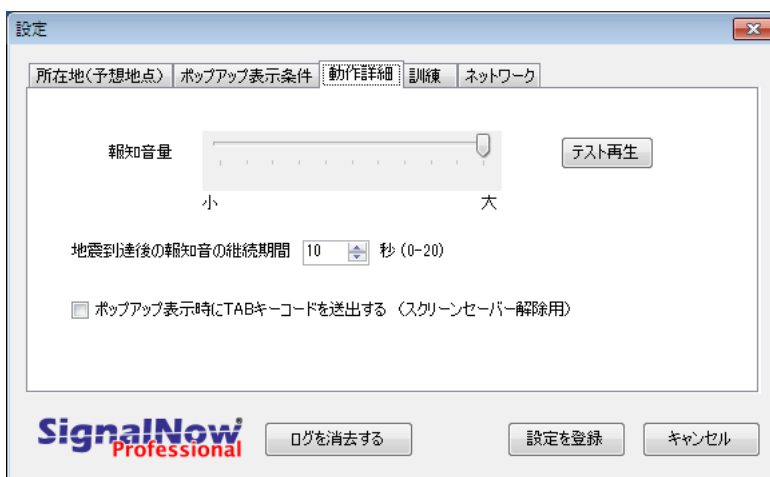



図) [動作詳細]画面

地震をお知らせするときの動作を設定します。設定できる動作は次の通りです。

❑ 報知音量(アラーム音量)

地震の揺れが到達することをお知らせする報知音の音量です。

❑ 報知音の継続時間

猶予秒数が０になってから(地震の揺れが所在地に到達してから)も、継続して報知音を鳴らす時間を秒数で指定します。

❑ スクリーンセーバー解除

ポップアップした際、スクリーンセーバーが動作していると SignalNow Professional の

SignalNow Professional
画面が表示されません(報知音のみでお知らせします)。この機能を有効にすると SignalNow Professional により TAB キーを送出し、スクリーンセーバーを解除することができます。

1. [設定]画面の中にある[動作詳細]タブをクリックします。

2. [報知音量]を設定します。スライダーのつまみをドラッグして音量を変更することができます。

→ [テスト再生]ボタンをクリックして、音量を確認できます。

3. [地震到達後の報知音の継続期間]を秒数で指定します。

→ 上下矢印ボタンをクリックして入力することもできます。

4. スクリーンセーバーの動作中に、ポップアップ画面を強制的に表示させるためには[ポップアップ表示時に TAB キーコードを送出する(スクリーンセーバー解除用)]をクリックして、チェックマークを付けてください。

Step 5.　設定画面の終了

1.[設定を登録]ボタンをクリックして下さい。

→ SignalNow Professional は設定された内容を記憶し、即座に有効にします。

① 入力した設定内容を無効にしたい場合
[キャンセル]ボタンをクリックしてください。

○設定－拡張

SignalNow Professional をオフィスで使用するための設定やその他の機能を設定します。

Step 1.　ネットワーク

※プロキシサーバーを使用していないネットワーク環境で箱の手順は不要です。

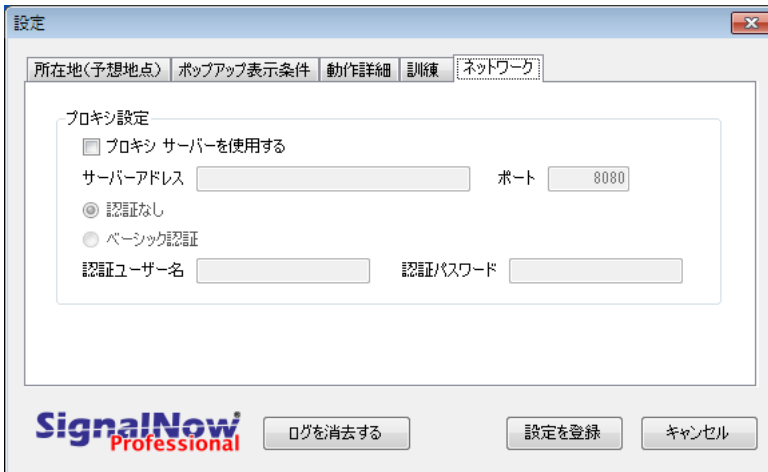



図) [ネットワーク]画面

オフィスネットワークではセキュリティを向上させるためにプロキシサーバーを使用している場合があります。

この場合、SignalNow Professional を正しく緊急地震速報配信サーバーと通信させるためにプロキシサーバーの設定を行う必要があります。

ネットワーク管理者に設定情報をご確認下さい。

1.　[プロキシ サーバーを使用する]をクリックして、チェックマークをつけます。

→　[サーバーアドレス]、[ポート]と認証方法が入力および選択できるようになります。

2.　[サーバーアドレス]と[ポート]を入力します。

3.　認証方法を[認証無し]か[ベーシック認証]のどちらかをクリックして選択します。

① ベーシック認証
ベーシック認証を選択した場合、認証に必要な[認証ユーザー名]と[認証パスワード]が入力できるようになります。それぞれ入力してください。

Step 2.　訓練

※訓練機能を使用する場合、この画面から設定します。普段使う際の設定は必要ありません。詳細は機能説明のページをご参照下さい。

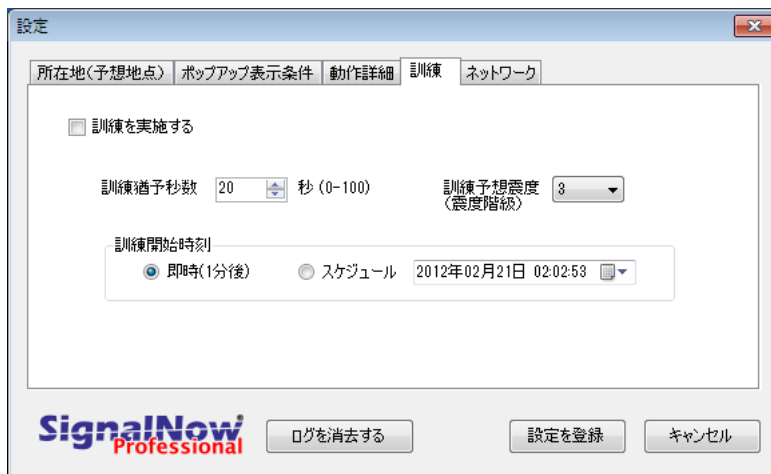



図) [訓練]画面

　仮想的に地震が発生した状況を再現し、SignalNow Professional がどのように動作するのか確認することができます。この機能を使用して訓練等にお役立て下さい。

　指定する項目とその意味は次の通りです。

- [訓練猶予秒数]：地震の揺れが所在地に対して到達するまでの時間(猶予秒数)を秒単位で指定します。
- [訓練予想震度]：所在地に対して到達する揺れの大きさ(予想震度)をドロップダウンリストから選択します。
- [訓練開始時刻：即時(1 分後)]：[設定を登録]ボタンを押してから約 1 分後に地震を発生させます。
- [訓練開始時刻：スケジュール]　：希望する地震の発生日時がある場合に選択し、希望する日時を指定します。現在の時刻から 1 分以上未来の日時を指定してください。

1. [訓練を実施する]をクリックして、チェックマークを付けます。

→　訓練実施後には自動的に初期状態(チェックマークが外れた状態)にもどります。

2. [訓練猶予秒数]、[訓練予想震度]をそれぞれ指定します。
3. [訓練開始時刻：即時(1 分後)]か[訓練開始時刻：スケジュール]を選択します。[訓練開始時刻：スケジュール]を選択した場合は、併せて希望する日時を指定します。

   ※[訓練開始時刻：即時(1 分後)]を選択した場合は[設定を登録]ボタンをクリックしてから約 1 分後に動作します。

4. [設定を登録]ボタンをクリックして、訓練の登録を行います。中止する場合は[キャンセル]ボタンをクリックしてください。

→　訓練用の地震が発生し、ポップアップ画面が表示されます。

■各機能の説明

この章では SignalNow Professional の各機能について説明します。

○各機能の使い方

ポップアップメニューから各機能を呼び出して使用します。

1. タスクバーの通知領域※にある SignalNow Professional のアイコンを右クリックして、ポップアップメニューを表示します。

→ ポップアップメニューが表示されます。

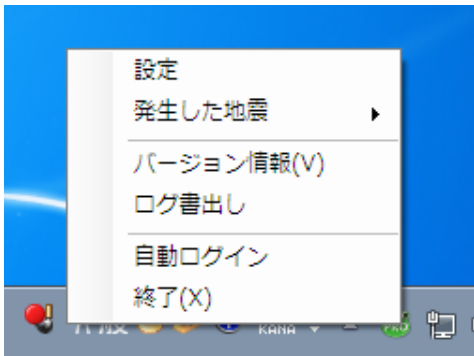



図) ポップアップメニュー

2. 希望する各機能をクリックして呼び出します。

※[設定]機能については「設定－基本」の章をご参照下さい。

機能 1. 発生した地震

過去に発生した地震の情報をポップアップ画面にて確認することができます。

過去に発生した 5 つの地震が履歴としてサブメニューに表示されます(古い地震情報から先に削除されます)。その中から希望する地震をクリックして表示します。

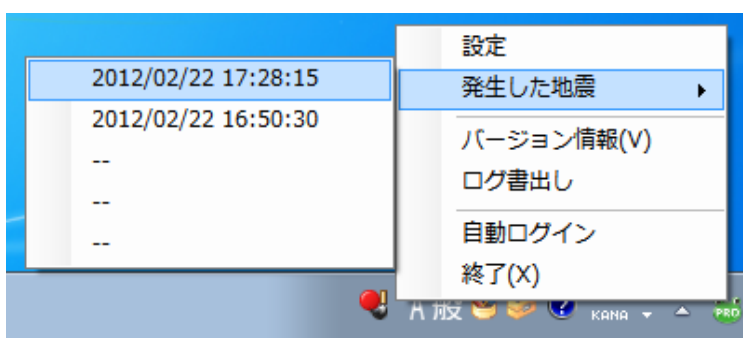



図) 発生した地震の選択

① 履歴として登録される地震は
「ポップアップ条件に一致しなかった地震」の情報も発生した地震として記録されます。

機能 2.　バージョン情報

お使いの SignalNow Professional のバージョンが表示されます。不具合等でお問い合わせの際は、このバージョン番号も併せてお知らせ下さい。

図) バージョン番号の確認

機能 3.　ログ書出し

SignalNow Professional は緊急地震速報を受信した際の予測演算の結果など、動作を記録しています。

この機能を使用するとそれらの記録を書き出し、ログファイルとして任意のフォルダーへ保存することができます。

不具合が発生したときなど、このログファイルをお送りいただくと問題解決に役立つ場合があります。

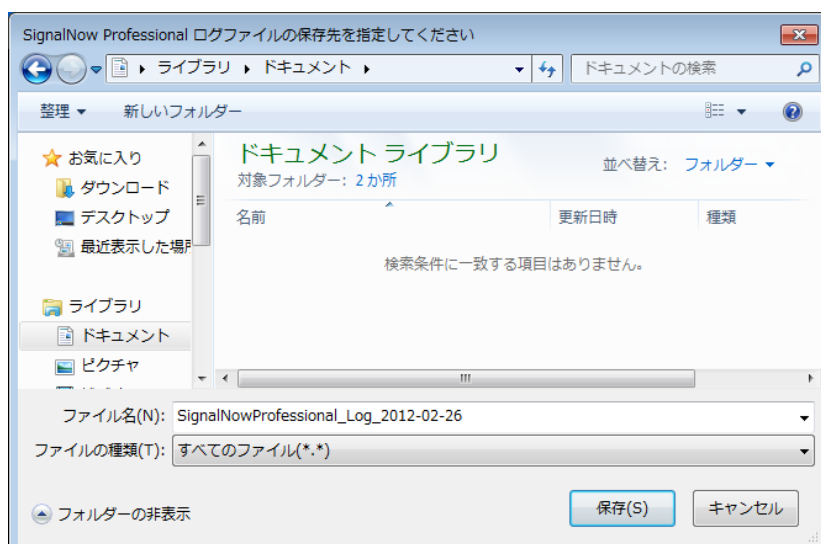
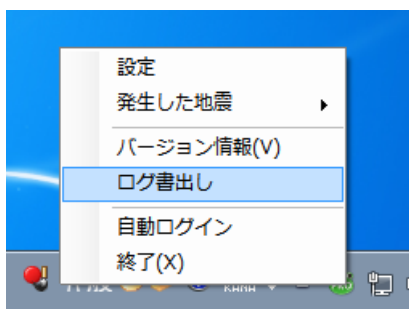



図) ログの書出し

① ログを消去するには
SignalNow Professional が内部で管理しているログを消去するには[設定]画面の下側にある[ログを消去する]ボタンをクリックします。

機能 4. 自動ログイン

チェックマークが付いている場合、SignalNow Professional は起動後に自動的に緊急地震速報配信サーバーへログインを開始して緊急地震速報を受信できるようにします。

メニュー項目をクリックすることでチェックマークを外すことができます。

チェックマークが無い場合は、SignalNow Professional の起動後に表示される[SignalNow Professional ログイン]画面から、手動で[サーバーへログインを開始]ボタンをクリックする必要があります。

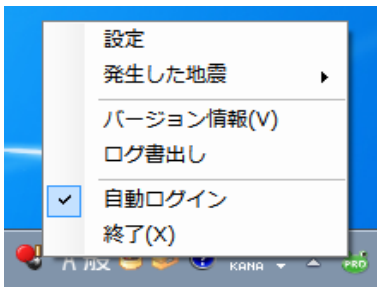



図) 自動ログインの確認

ⓘ 自動ログインの設定は
[SignalNow Professional ログイン]画面にある[自動でログインする]チェックボックスと同じ働きをします。

機能 5. 終了

SignalNow Professional の動作を終了します。再び SignalNow Professional を起動させるためには「使い方 起動方法」の章を参照してください。

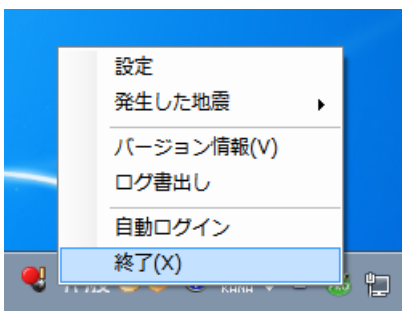



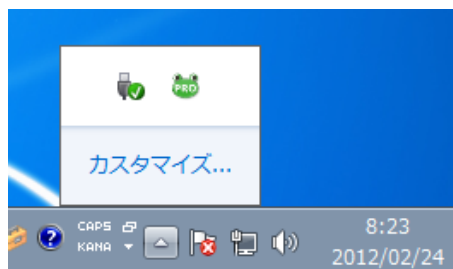
図) SignalNow Express の終了

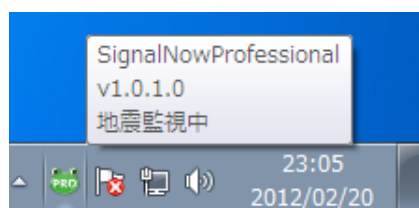
■画面の構成と説明

SignalNow Professional は主に通知領域に表示されるアイコンとポップアップ画面により構成されています。

○通知領域のアイコン

通知領域に表示されるアイコンです。

アイコンの色により SignalNow Professional が動作状況を判断することができます（緑色：正常、赤色：通信エラー）。

図）通知領域にある SignalNow Professional のアイコン

マウスカーソルをアイコンの上に重ねることで動作状況の他、バージョンが表示されます。

図）通知領域のツールチップ

その他、アイコンの上で右クリックをすると表示されるポップアップメニューより、各機能を呼び出すことができます。

○ポップアップ画面

地震のお知らせをする画面です。報知音と共に表示され、所在地に対する揺れの大きさ(震度)、揺れが到達するまでの時間(猶予秒数)や地図上で地震の揺れの広がりを確認することができます。

所在地に地震の揺れが到達するまでの時間

所在地に到達すると予測された震度

発生した地震のエネルギーの大きさ(マグニチュード)

報知音のオン・オフ切換

地震発生時刻

地図の拡大・縮小切換

震源地

所在地

地震の揺れ(地震S波)の広がり

SignalNowProfessional
ストラテジー株式会社
到達まで
0秒
SignalNow Professional
マグニチュード：3.6
予想震度：0
発生時刻 2012/02/22 17:28:15

図) ポップアップ表示画面

① 緊急地震速報の予報と警報

緊急地震速報は通常「予報」として扱われます。発生した地震の影響により、甚大な被害が予測される地域に対しては「警報」属性が付加されます。SignalNow Professional は所在地に設定された場所が「警報の対象」となる地域に含まれる場合、以下のように「警報」を示す表示を行います。

図) ポップアップ表示警報画面

■参考サイト

緊急地震速報や地震防災への理解を深めるため、各機関の情報もご参照下さい。

❑ 株式会社小林洋行コミュニケーションズ
http://kobayashiyoko-com.jp/sn/

❑ 気象庁　気象等の知識（緊急地震速報）
http://www.seisvol.kishou.go.jp/eq/EEW/kaisetsu/index.html

❑ 気象庁　防災気象情報（地震情報）
http://www.jma.go.jp/jp/quake/

❑ 独立行政法人　防災科学技術研究所（地震観測網ポータル）
http://www.seis.bosai.go.jp/

❑ 地震調査研究推進本部
http://www.jishin.go.jp/main/index.html

❑ 東京大学地震研究所　地震予知研究センター
http://outreach.eri.u-tokyo.ac.jp/eri/yoti/

❑ 東京消防庁（広報とうきょう消防第４号）
http://www.tfd.metro.tokyo.jp/hp-kouhouka/kts/kts_04/kts01.html

❑ 内閣府の防災情報（首都直下地震対策）
http://www.bousai.go.jp/jishin/chubou/taisaku_syuto/pdf/101110/101110.pdf

❑ ストラテジー株式会社
http://www.estrat.co.jp/

■お問い合せおよびサポート窓口

本ソフトウェアに関するご質問等お問い合せは次の窓口までお願いいたします。

株式会社小林洋行コミュニケーションズ SignalNow デスク
http://www.kobayashiyoko-com.jp/sn/

e-mail: info-sn@kobayashiyoko-com.jp
(受付:平日 10:00 - 17:00、年末年始等休業日を除く）